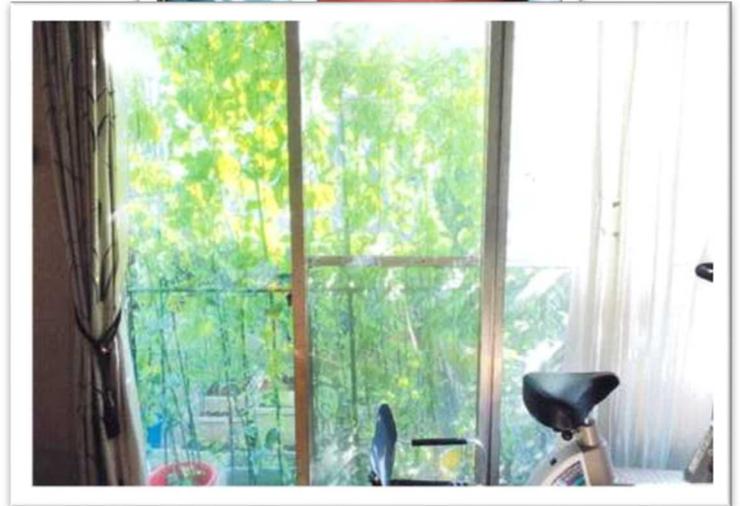




緑のカーテン 体験談

○お名前 矢崎様





○体験談

■植えた植物の名前 丘わかめ

■コメント

2013年の7月、空いている自宅車庫跡地の活用を考えていた時、たまたま見たTV番組に影響され、コンテナを置いてのミニ家庭菜園をスタートすることにした。

(中略)

昨年手がけた「オクラ」が全くダメで2ヶ月くらいで諦め、空いたコンテナ2個にホームセンターで目に付いた「丘わかめ」の苗を1株ずつ植えてみた。

この「丘わかめ」の育ちが実に素晴らしく、ネットで知った以上に驚くほど順調に増え、2ヶ月ほどで約2mの「木」になってくれた。

ためしにその葉を摘み、おひたしにして酢醤油にワサビを添えて食すと実に美味しく、ビールのおつまみに最適であった。

秋には白い清楚な花が木全体を覆い、この花を見るのも楽しみであった。

ただ、晩秋から冬になり越冬の方法がわからず、コンテナの丘わかめを枯らしてしまった。

藤田智氏著「成功するコンテナ菜園」(2013NHK出版)のテキストには丘わかめは載っていなかったのでネットであらためて調べてみたがその可能性の大きさに感動。来年は本腰を入れて丘わかめに取り組もうと決めた。

今年は去年までゴーヤで作っていたグリーンカーテンを丘わかめでやろうと思い、その準備に取り組んだ。まだコロナが大きな問題になる少し前だった。

まずコンテナの土を古いものから新しい土への入れ替え作業を慎重に行った。

(中略)

ひ弱にみえた苗も順調に実にたくましく育ち、一か月後くらいには



その丈も1mを超えてきた。

手入れの面倒はあまりかからず、追肥を2週間に一度、水を毎日たっぷりと与えた程度であった。

(中略)

5月中旬、3月のお彼岸ごろに植えたわかめについた立派な葉の中から20枚くらいを摘み取り、今回もおひたしにして頂いてみた。初物としては上々の出来だった。以降直近まで丘わかめ達からは殆ど毎日、我が家の貴重な栄養補給源となっている。

そうした時、6月2日に発行された「ちば県民だより」6月号に載った「緑のカーテン体験談募集」の記事を見た。

この素晴らしい「丘わかめ」で緑のカーテンを立派に完成させ、その経緯を県民だよりに投稿出来るよう頑張ってみようと思った。

長梅雨が明け、猛暑の続いたこの夏、身の丈2m以上に立派に育ったこの「丘わかめのグリーンカーテン」はどのくらい我が家の暑さをしのいでくれたか。とくに強烈な西日があたる時間帯には、実に貴重な役割を果たしてくれた。

涼しさが増した9月中旬以降、丘わかめには白い花が咲き誇り、葉っぱはさすがに「紅葉」化が目立ってきた。また、木によってはかなりの量の「ムカゴ」が枝についてきた。

初めてのチャレンジだったが我が家の「丘わかめグリーンカーテン」作戦は、省エネのほか健康野菜供給源として十分にその役割を果たしてくれたと大いに満足しているところです。

今年はこの作戦に関心がありそうな知人や親戚数人に苗を贈ったり情報を提供し、それなりに喜ばれた。来年は素晴らしい可能性がある割にはまだあまりポピュラーになっていないこの「丘わかめ」を、健康野菜と省エネの両面からもっと多くの人たちにPRしていきたいと考えています。